

立体駐車場のコンクリート床の防水機能向上・耐摩耗・工期短縮に  
浸透性コンクリート表面保護材「RCガードPK」新発売

本ページに掲載されている情報は発表当時のものであり、  
最新のものと価格・仕様が異なる、もしくは販売が終了している可能性があります。

最新情報をご確認ください。

[最新情報を見る](#)



立体駐車場のコンクリート床の防水機能向上、耐摩耗、工期短縮に有効な  
「RCガードPK」を新発売しました。

#### 露出駐車場の要求性能

従来の立体駐車場や建物の屋上に設置された駐車場の防水は、アスファルト防水の上に保護コンクリートやアスファルトコンクリートを施工し、路面としながら防水層を保護するのが一般的でした。現在では、建物全体の軽量化にともない、防水も軽量化が求められるようになってきました。

「RCガードPK」は、コンクリートへの浸透タイプですので軽量化にすぐれており、剥離の心配も無く、補修も容易に行なうことができます。露出駐車場の要求性能である防水機能の向上はもちろん、軽量化、工期短縮に効果的です。

#### 「RCガードPK」の特長

##### 1、工期短縮

下地の乾燥状況を考慮せずに施工が可能なので工期が短縮できます。コンクリート打設後3～7日で施工が可能です。

##### 2、品質の低下が少ない

浸透タイプのため、光・熱・オゾンによる品質の低下が少なくなります。

##### 3、補修が容易

コンクリート面が露出しているため補修作業が容易です。また、ひび割れ等の発見も容易です。

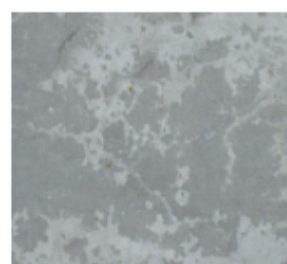
##### 4、損傷が少ない

塗膜タイプに比べ、車輛走行によるすり減りなどの損傷が軽減され、コンクリート表面の耐摩耗性が向上します。

##### 5、環境に配慮

5、環境に無害  
無機質・水性の材料を使用しているため、環境にも作業者にも無害で安心です。

## 施工効果



施工完了後一年経過の  
コンクリート面の状態。



拡大すると、微細なクラックが  
RCガードPKで閉塞されているのが分  
かります。

## 施工手順

- |               |   |
|---------------|---|
| ① 施工前湿潤散水     | RCガードPKが流出しない程度に下地を湿潤状態にします。              |
| ↓             |   |
| ② 材料混入        | RCガードPKの濃縮液1を清水2で希釈し使用します。                |
| ↓             |   |
| ③ 1次RCガードPK塗布 | コンクリート面へRCガードPKを均一に塗布します。                 |
| ↓             |   |
| ④ 1次散水養生      | コンクリート面へ塗布したRCガードPKの浸透を図るため清水を散布します。      |
| ↓             |   |
| ⑤ 2次RCガードPK塗布 | 散水養生後、コンクリート面が乾燥する前に2回目のRCガードPKを均一に塗布します。 |
| ↓             |   |
| ⑥ 2次散水養生      | 1次同様にコンクリート面へ塗布したRCガードPKの浸透を図るため清水を散布します。 |
| ↓             |   |
| ⑦ 水洗い洗浄       | 余分なRCガードPKを洗い流します。                        |
| ↓             |   |
| ⑧ 施工完成        | コンクリート面を十分に乾燥させます。                        |

## おもな施工場所

立体駐車場、階下に居室スペースの無い屋上駐車場

## 材工設計価格（税別）

2,800円/m<sup>2</sup>（300m<sup>2</sup>以上基準）

※この商品は弊社特約施工販売店が責任施工で行ないます。詳しくは、お問い合わせください。

➡ 「RCガードPK」の商品情報ページはこちら

➡ フォームで問い合わせる

➡ カタログを取り寄せる

➡ お電話・FAXでのお問い合わせはこちら

■掲載されております商品の表示価格は税抜き価格です。

■掲載されている情報は発表当時のものであり、最新のものと価格、品番、販売終了など情報が異なる可能性があります。ご了承ください。

